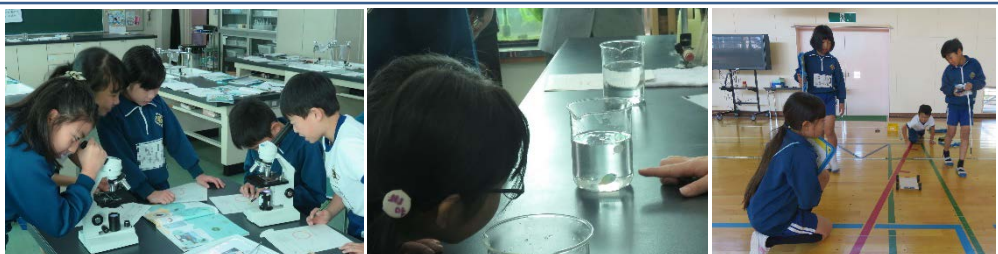


### ◆2017年度助成校・団体の活動紹介

2018年11月～12月に訪問した学校・団体の実践を紹介します。

#### 福島県 いわき市立小名浜東小学校



写真左・中央は、第5学年『魚のたんじょう』の単元。水産試験場から取り寄せた海水の中に存在するプランクトンを顕微鏡で観察・スケッチしている。その後、ピーカーの海水魚がプランクトンを食べる様子を確認した。写真右は、第3学年『風やゴムで動かそう』の単元で、原動力になるゴムを伸ばす長さを変えると、手製の車が進む距離がどのように変化するかを測定している。

#### 神奈川県 川崎市立小学校理科教育研究会



川崎市立東菅小学校で開催された神奈川県小学校理科教育研究大会の公開授業の様子。第6学年「土地のつくりと変化」の単元において、粒に視点をあてて地域にある地層の成因を考えたことを基準に、市内の別な地層と比較、関係づけ、多面的に土地のつくりと成因についての考えをつくり上げている。

#### 福岡県 北九州市立曾根東小学校



『地域環境フォーラムin曾根東』は、6年間の環境学習の成果を保護者や地域の方々に向けて発表するイベントで、ステージ発表の他に、エコミュージアム見学やPR動画視聴、エコ校舍ツアーなど、6年生がチームを組みそれぞれを担当し、環境教育と地域との連携の重要性を発信していた。

#### 神奈川県 綾瀬市立綾瀬小学校



第6学年『てこのはたらき』の導入の授業。左2枚の写真は、砂袋の位置や持ち上げる位置を変えるなど自由にてこを動かして、いろいろなてこの法則を発見している様子。グループで発見した法則は画用紙カードに書きクラスで共有した。

#### 福岡県 福津市立福間中学校



第3学年『地球と宇宙』の授業。地球から見て金星はどのような見え方をするかについて、各自が予想を図で表現し、その後太陽・金星・地球のモデルを用いた実験で調べ、電子黒板を使って発表した。また自然環境の保全と科学技術の利用のあり方を調べる『くらしを支える科学技術』については、3月に実施した実践内容が報告された(写真右)。

#### 神奈川県 横浜市立三保小学校



平成30年度第8回重点授業研究会を見学、同校は横浜市の『ESD推進コンソーシアム』推進校に指定されていることで、各学年・教科にてSDGs・ESDに紐づけた教科横断的な学習の工夫が見られた授業を展開されていた。

#### 栃木県 下野市立祇園小学校



第5学年『電磁石のはたらき』の授業では、電磁石の芯の素材や太さをどのように変えると電磁石は強くなるかについて予想を立て、その後条件制御について考えながらグループごとに実験を行った。祇園小学校は、「考察文の書き方」の型などを作成し、書くことを重視した研究を行っている。この日も考察に十分な時間をかけた授業であった。